



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2002-2003

4月 ガバナー月信 No.10

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 2003年4月1日発行



尾張名所図巻 桜天神市木

4 月 は、 雑 誌 月 間 で す。

ガバナーメッセージ	2	小牧RC創立35周年	11
国際協議会に参加して	4	安城RC創立45周年	11
会長エレクト研修セミナー	6	IM開催報告(西三河、南尾張)	12
ローターアクト海外研修	8	文庫通信	14
雑誌月間に寄せて	10	出席報告	15

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 岡部 快圓

〒460-0011 名古屋市中区大須2-21-47 大須観音宝生院内

TEL 052-229-8110 FAX 052-232-1023 E-mail: governor02-03@rotary2760.org

Governor Message

ガバナーメッセージ

ガバナー 岡部 快圓



会長さん、幹事さん、会員の皆様お元気ですか、さくらの花もほころんで、日本で一番美しい季節になりました。

本年度地区方針として、「新世代に思いやりの心を」「最近の新世

代の犯罪は確たる動機がないのに、凶悪な犯罪を犯すケースが目立っています。ものと人との区別が曖昧で物を壊すように人の命を奪ってしまう、命の尊厳さを忘れた危機的な状況です。自分のエゴが先行し、それが満たされないと我慢しきれずに切れてしまう。人間は本来お互いに持ちつ持たれつの関係においてのみ存在することができるのです。相手を生かすことによって、自分も生きることができるのです。慈愛の種を新世代のところに播けば相手を思いやるやさしいところが芽吹き、暖かい、やさしい社会を創ってくれと信じます。未来を担ってくれる新世代に慈愛の種を播きましょう。」と提示させていただきました。

時を同じくして、ガバナー会の議長第2580地区前川昭一ガバナーより「凶悪な青少年犯罪、不登校、学級崩壊など、教育の荒廃を感じます。この現象を嘆いたり、批判するだけでなく、全国のロータリアンが学校教育に直接貢献できないものか」

「過去ロータリーの教育や青少年の取り組みは主として国際的関連であり、高校生以上の年代に対してであったような気がする。例えば、研究グループ交換(GSE)、ロータリー財団国際親善奨学生、米山奨学生、高校生の国際青少年交換学生、そして、インターアク

トとローターアクトの推奨事業などが挙げられる。足下の地域社会での保育、幼稚園児、小学生、中学生まで手が届いていない現状がある」と問題提起されました。

その後、全国のクラブにアンケートをとり、このプロジェクトを政治問題にしないようにとの忠告や行政(文部科学省)意向を丸呑みするようなプロジェクトとしないなどの前提条件付きで、教育改革に各地区ガバナーは前向きに取り組むとのコンセンサスができあがりました。

そして、ガバナー会の中に、「青少年育成委員会(JYDC)」を発足させ、委員長に津田健三氏(昨年度D2770ガバナー・埼玉県)が就任し、総理大臣諮問機関「教育会議国民会議の17項目の提案」の検討、学校・教育委員会・文部科学省などから、学校が直面している諸問題、現場での要望事項など、情報の収集を行い、主に小中学校教育に対してロータリーのできる教育奉仕の具体的内容の調査研究を進めてきました。

そして、各地区の代表者による「青少年育成委員会(JYDC)・全国会議」が開催され、「良い日本人を創ること」を目的に、各クラブの自主性のもと、ロータリアンとして、各クラブとして何ができるか協議を重ね、次の4項目に絞って活動方針が採択されました。

1

**学校評議員制度を地域ごとに研究し、
ロータリアンが評議員として
活動する可能性を探る。**

新学習指導要領がえがく体験学習や問題解決型学習など総合的学習の充実と開かれた学校の実現のため、平成12年4月1日から施行された評議員制度にロータリアンが積

極的に参加し、青少年育成の成果を豊かなものにします（評議員制度は法による強制力はありません、小中各校5名以内）

2

学校に講師として ロータリアンを派遣するため 「人材登録名簿」を作成する

総合学習の効果的実行のため職業体験、そして人生体験豊かなロータリアンが学校に行き、教師と共に一層充実した授業を展開し、子供に学ぶ喜びを与えるようにします。

3

教師・生徒を職場体験させることの出来る ロータリアンの 「事業所一覧」を作成する。

教師にとっては実社会を反映した教育を実現し、また子供にとっては親を理解し職業の尊さを身をもって知ることになります。

4

そのほか、各地域に適合した方法を考え、 それを皆で分かち合い、 担い合って活動する。

地域に密着し、評価を受けている青少年育成運動があれば、それを一層伸張するようにします。

当地区におきましても“青少年の教育”は重要な課

題であります。「青少年育成委員会」で採択された活動方針をもとに、各クラブと協力し、地区新世代委員会を中心に検討を重ね「新プログラムの確立」を計り、新プログラムは実践プログラムと位置付け、新たに提案するものであります。

奉仕活動はボトムアップが原則であり、ロータリアンや各クラブの新世代また社会奉仕活動の実態は地域社会のなかで学校や教育問題と深い関わりを持っています。今回採択されたプロジェクトは、各クラブの情報を収集し、社会に新たな情報として発信する社会のニーズに対応するプロジェクトともいえます。各クラブの奉仕事業やロータリアンの奉仕活動がより社会性を帯び、ロータリーと社会の接点を拡大しロータリーの活性化を図り発展に大きな期待ができるプログラムといえます。

各クラブ、ロータリアンと地区新世代委員会と連携を密に、「新プログラムの確立」にご理解とご協力をお願いいたします。

尚、昨年12月、遠山文部科学大臣、近藤信司生涯学習政策局長と前川ガバナー会議長との会見が行われ、「新世代育成委員会」の4項目のロータリーの活動方針を報告し、理解を得ました。席上、遠山文部科学大臣は「ロータリークラブと文部科学省で、大きいプロジェクトを考えましょう」と提案もされ、マスコミ報道されたこともご報告いたします。

国際協議会に参加して

ガバナーエレクト 豊島 徳三

澄みきった青空。吹き抜ける風は爽やかさと心地良さを運んでくれます。

2003/4年度国際協議会はそんな気候のカリフォルニア ザ・アナハイム ヒルトンホテル&タワーズにおいて例年の如く開催されました。集いし友は1000名を越えるガバナーエレクトとその配偶者でした。

私は時差ボケに弱いものですから一日早く24日にチェックインしました。未だ大会準備もなくディズニーランドに近い割には静かでした。1月26日、日本からの同期の到着。何故か私も役員の方に伍して出迎え側に並ぶ羽目になりました。

世の中には思いがけないご縁もあるものです。その中で2～3ご紹介しましょう。

最初に声を交わしたのはナイジェリアのガバナーエレクトご夫妻でした。マジアベ氏のお国の方



GEセッション風景

で奇遇を感じました。準備もできていない会場を覗いておりましたら4～5名のグループの方も同じようにやってきたのです。弥次馬はどこにもいると言葉を交わすとD.T.9700オーストラリア・カウラRCのピーター・チャイバース夫妻でした。ラタクル会長主催の昼食会の席上、彼と隣合わせになり初めてカウラRCのことを思い出しました。2760地区稲沢RCが、第二次大戦中の日本人捕虜収容所の悲惨な事件から墓地を作り、カウラRCがお守りしている事を聞き及び何か熱い想いを感じました。

最初にギフトの交換したのはフランスのマダムでした。英語も片言で何となく通じた時には嬉しさで一杯でした。そんなことからこれらの方々とは会期中何度も話し合いました。会議前日の26日、会長主催のレセプションは出席は義務づけではありませんが、顔を出しますとあちらからこちらから声がかかりすっかりその気になり、大阪でお会いした元RI会長で現RI財

団管理委員長グレン・キンロス氏やラタクル会長ご夫妻、マジアベ会長エレクトご夫妻と直接会話し写真を撮ることが出来、すっかり打ちとけて明日からの会議を心待ちに武者震いする中に就寝しました。

27日、今日も20度。カリフォルニアの朝日がまぶしい一日。いよいよ第一回本会議の開始です。ラタクル会長の開会宣言、今回の会議の成功と会員の健やかたらん事の祈禱、歓迎の辞、加盟国の国旗の入場、タイならびにナイジェリアの国歌演奏、ロータリーの歌斉唱等スケジュールに則りすすみ、参加者固唾を飲み待ちこがれる中、2003～2004 RIテーマの発表の時がやって参りました。

「Lend a Hand」

「手を貸そう」

簡潔で分かりやすく、実行も努力次第で可能なものを感じました。



配偶者セッション風景

あなたのクラブに手を貸そう

あなたの天職に手を貸そう

あなたの地域社会に手を貸そう

世界に手を貸そう

そしてロータリアン家族を作ろう。

貧困と飢餓をなくそう

識字教育をすすめよう

正面のスクリーンにはマジアベ氏の映像が、両側のスクリーンには講演の具体的内容の映像が刻一刻と映し出されるのですが、最初の映像－神戸大震災の悲惨なものとそこで働くボランティアの人々でした。思はず落涙をいたしました。その後、アフリカやバングラデシュの飢餓状態が映し出されましたが、時が経つにつれ自らの中に何かをしなければ…という思いで一杯でした。

合計、私は10回の本会議、15回のグループ討論に参加し、配偶者も10回の本会議、12回の配偶者のみの本

会議グループ討論に参加しました。

内容については又機会を見て順次お話しさせていただきますが、いくつかの話題をご紹介します。

会期中必ず全員が着席する間は10分間ぐらいのロータリーソングで始まります。ソングリーダーはオクラホ

マの方で元気な指導で思はず立ち上がって合唱に加わってしまいます。実はメロディーは日常唱っているものも多く、所謂、替え歌が多いのです。或る日はメキシコの女性のガバナーエレクトが壇上で「シエリト・リンド」を唱い、特にラタクル会長のリクエストで翌日は日本人のガバナーエレクトが「手に手つないで」を唱いました。リーダーに隣の人どうし手をつないでほしいと申入れしました。そして全員着席するとスタンディングオベーションでラタクル会長やマジアベ会長エレクトをお迎えし必ず祈祷から会議を始められます。

その朝は実に胸を潰される想いの祈祷で始まりました。コロンビアの事故の日でした。17年前レーガン大統領時代、一日違いでやはりR I国際協議会開催中だったと聞かされました。

公式昼食会では一組ずつ自己紹介をしなければいけません。氏名、地区、所属クラブ、国名、配偶者名、時々配偶者を間違えたり忘れたりする人がいて大爆笑でした。なぜ配偶者というかここで分かりました。日本では女性ガバナーは未だ存在しませんが、外国には沢山居られます。女性が紹介することになりますし、両名ともロータリアンも多い事に気がきました。

国際祭りの夕べでは花笠音頭に出演しました。極めつけはブラジルチームのサンバでした。聞きし

に勝る盛り上がりで10時過ぎまでこの日ばかりの賑わいでつい私達も踊り呆けました。

数多くの催しの中でラタクル会長、マジアベ会長エレクトのお話と共に印象深かったのは「過去の山頂は将来の丘」ロータリーの100周年を祝しロータリーのイメージを討論する司会者と6名の座談会形式によ



「Lend a Hand」発表の瞬間

るロータリーの歴史でした。日本から渡辺 好政氏が活躍され、実の所全員ネイティブスピーカーと思い同氏の英語のご堪能さに驚くと共に誇りに思いました。

R I 理事 菅生 浩三氏(大阪北RC)が「今日における職業奉仕の重要性について」もっとも難解と言は

れている職業奉仕について実例を挙げながら明解にお話をされました。

最終日、地区ガバナーエレクトの証言に世界から6名が選ばれ、その中に私達の同期 戸田 一誠君が堂々とメキシコ、アメリカ、フランス、ブラジル、タイの人々に伍して意見を述べ大いに喝采を博した事も印象的でした。

そして2月1日夜、蛍の光の大合唱の中で大会は無事閉会を迎えました。出発前、エレベーターでの移動の大変さ、気候への対応の気遣い等ご助言を戴きましたが、思ったより全てスムーズに対応出来た事は幸せでした。

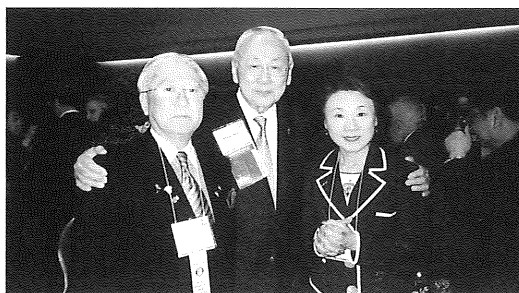
未確認ですが日本から交換用のギフトを370ヶぐらい持参して残りが数ヶですから、少なくとも350人以上のガバナーエレクトとその配偶者と交流した事になりましょう。心残りなのは、私の語学力では日常生活や初歩的な話は出来てもロータリーの哲学についての対話が出来ず残念でした。分科会セッションにも日本人の指導者と日本人のグループでしたので、今後出来たらこの様にフランス人もアメリカ人もナイジェリア人もブラジル人もロシア人も交えたセッションが出来たらなあと思いました。この点については配偶者プロ

グラム出席の喜世子も同じ事を感じた様です。

ブリスベン、大阪、シカゴでの再会を約し

2月2日朝食後各々ホテルを後にいたしました。セッション本会議では当然大変でしたが、一方好奇心100%で明るく楽しく過ごさせて戴いた一週間でした。

ありがとう ・ THANK YOU ・ GRACIAS
・ DANKE ・ 謝謝



RI会長、B.ラタクル氏と



RI会長エレクト、J.マジアベ夫妻と

PETS

2003～2004年度

会長エレクト研修セミナー

日時 平成15年2月27日(木) 会場 名古屋観光ホテル
次期地区幹事 瀧 義孝

国際ロータリー第2760地区会長エレクトセミナー(PETS)が2月27日(木)名古屋観光ホテルにて開催された。

豊島ガバナーエレクトの指示と監督の下に79クラブ会長エレクトら116名が集い、野村研修リーダーによって計画されたプログラムによって進められた。岡部ガバナーのご挨拶では本年度のテーマ「慈愛の種を播きましょう」によって推進された奉仕の心が次年度のテーマ「手を貸そう」で実践することによって更に更に大きく輪をひろげ推進される事をクラブ会長エレクトの皆さんに期待を託していると激励と期待のお言葉をいただいた。

当セミナーのメインである豊島ガバナーエレクトによる新年度に向けての所信表明が切々と熱っぽく語られた。

アナハイムにおける国際会議で発表された新年度のテーマ「Lend a Hand」「手を貸そう」「あなたのクラブに」「あなたの天職に」「あなたの地域社会に」そして「世界に」手を貸そうとあります。

特にロータリアン家族への心遣い、識字教育の推進、貧困・飢餓の解消、保健・環境への配慮がとりわけ大切であると強調されている。

本年度のテーマ慈愛の種を播く時、私たちロータリ



アンが手を貸して奉仕活動を推進していかなければならない。

ロータリー活動は織物の如く縦糸と横糸の関係でつくられており、RI会長→地区ガバナー→ガバナー補佐→クラブ会長と毎年変わる流れで縦糸であり、地区委員会等の専門的知識を必要とするような部門は横糸ではないかと考える。とロータリー組織のあり方を語

られた。

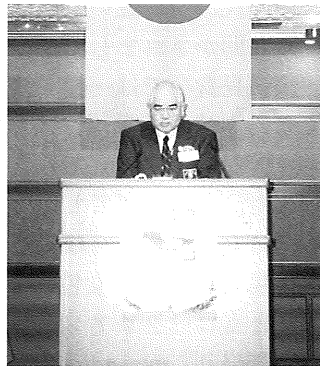
2004年大阪・関西世界大会開催、2005年にはロータリー100周年記念大会がシカゴにて開催、そして2760地区では愛知万博とビッグプロジェクトが控えており、これらの達成と、これからの百年に向けて会員一同の一層のご協力とお力添えをお願いいたします。と結ばれた。

内藤明人2005国際博委員会委員長からはこの国際博は世界に認められた国家事業であり、2005年はロータリー創立100周年の年にあたり、その記念事業として是非とも成功に導きたいと一層の協力を要請された。

議題は資料添付の項目が担当より説明され、午前の部は終了した。

昼食についてもクラブ会長エレクトの方々の人の輪作りのためにフリーシート方式で行った。

午後の部は豊島ガバナーエレクトによる「国際協議会に臨んで」と題し、アナハイムでの雰囲気、情景などをまじえ、世界各国より参加したロータリアンとの交流やロータリー精神をいかに行動に表すかを示唆された。



グループ別懇談会は8分区に分かれ、ガバナー補佐の司会進行の下に約1時間にわたり討議された。その後、各ガバナー補佐より簡潔に報告された。

分区内クラブ親睦、活動推進のため隔月に会長幹事会を開催している、会員増強・維持は大変難しい、IM等の中止も勇気ある撤退ではないか、PETSは今年、会長エレクトのみの参加であり、本日の研修はしっかり身についた、インターネット委員会と国際博委員会がドッキングをはかり、国際博をひろくPRしたらよい……etc。多くの意見が交換された。最後に、岡部ガバナーより講評を頂き点鐘となり、閉会となった。



PROGRAM プログラム

10:00~10:30	登録		
10:30	点鐘	ガバナーエレクト	豊島 徳三
	開会	司会：次期地区スタッフ	廣瀬 國忠
	国歌「君が代」	ソングリーダー	林 岡成
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	林 岡成
	開会の言葉	次期地区監事	水野 憲司
	特別出席者紹介	次期地区幹事	瀧 義孝
	ガバナー挨拶	ガバナー	岡部 快圓
	新年度に向けて	ガバナーエレクト	豊島 徳三
	会長のリーダーシップについて	次期地区研修リーダー	野村 重彦
	2005年国際博について	2005国際博委員会委員長	内藤 明人
12:00~	議題		
	1. 次期地区予算案について	次期地区会計長	森 浩晃
	2. クラブ計画書の作成について	次期地区幹事	瀧 義孝
	3. クラブ定例報告書及び資料提出について	次期地区幹事	瀧 義孝
	4. 公式訪問について	次期地区副幹事	森田 進
	5. 地区協議会、地区大会について	次期地区副幹事	大森 克孝
	6. RI会長賞について	次期地区副幹事	長谷川昇一
	7. ガバナー月信について	次期地区副幹事	黒木 義公
	8. GSEについて	次期地区副幹事	木全 輝雄
	9. ロータリー財団アンケートについて	次期地区副幹事	木全 輝雄
	10. 地区便覧について	次期地区副幹事	山内 國雄
	11. その他		
12:30~13:30	昼食と懇談		
13:30~14:30	研修		
	「国際協議会に臨んで」	ガバナーエレクト	豊島 徳三
14:30~14:40	〈移動〉		
14:40~16:00	分区グループ懇談会 (ガバナー補佐訪問、会長幹事会、IM、クラブ計画、その他)		
16:00~	ガバナー講評	ガバナー	岡部 快圓
	閉会の言葉	次期地区幹事	瀧 義孝
16:30	点鐘	ガバナーエレクト	豊島 徳三

ローターアクトクラブ海外研修

平成15年2月14日～18日 目的地 シンガポール

地区ローターアクト委員会 委員長 加藤康治

2月14日午前9時50分のフライトにてアクト19名、ロータリアン2名にて海外研修の目的地シンガポールへと出発す。

当日は市内の名所等を見学致し、マリーナ・マンダリンホテルにチェックインする。翌

日より早速地元のローターアクトクラブの交流会に参加すべくセントーサ島へ出向く。

小国とはいえ、当エリア内には17のローターアクトクラブがある。18のロータリークラブのほとんどがローターアクトクラブを提唱致している。基本的には日本と変わらないがシンガポールにある大学（4年生大学）の4校のうち、2つにはクラブ活動の一環として、ローターアクトクラブが活躍致していることである。中には100名もの会員を有するアクトクラブがある。

交流会には30名余のアクト達それぞれの手料理



現地ローターアクトクラブとの交流会



タンブリンロータリークラブへの訪問

にて我々を迎えてくれた。セントーサ島の夕日を背に個々のアクトクラブについての紹介等につき、個人レベルでそれなりに友好を深めるべく楽しい会話に花を咲かせた。1対1で身振り手振りで親交をはかる者、

僅かばかりの時間に、友として話が進むことである。

現地のローターアクトとの間に若者の志向や好きな俳優等々様々なトークがなされたことである。名刺を交換し、メールでの情報交換を約束いたす者、本当に彼らは時代を自由に駆使し、アクト達の情報が時を掛けることなく流れることである。当地のアクト達との交流を目にし、感動さえ覚えざるを得ない。

シンガポールは人口350万人、淡路島ほどの小さな国。40分あまりで隣国マレーシアに入国できる。16日には陸路にてマレーシアのジョホー

ル州へ入国する。四面海に囲まれた日本ではバスにて国境を越え入国す

ることは無い、おそらく参加したアクト達は初めての経験になるだろう。27日にはシンガポールが世界で2番目に取扱量が多いコンテナヤードP S A（Port Singapore Organization）見学する。

取扱量世界の20%を占めるコンテナヤードは世界に誇る自動システムを採用し、資源に限られた同国に進むべき道筋を感じさせたことである。このコンテナヤードに於いても将来を中国に軸足を置き、貨物業務を対応していることである（2001年度扱い量の50%は対中国関係業務である）。

夕方にはシンガポールに18あるロータリークラブの一つタンブリンロータリークラブ例会にリージェントホテルに訪問できたこと。他国でのロータリークラブ訪問はアクト達には初めてのことで、少々緊張いた



コンテナヤード（PSA）説明会



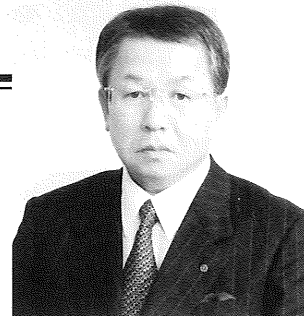
The National Orchid Garden にて

すも、ロータリアンの優しい歓待に一同感激したことです。女性アクトは和服にて訪問し、

ロータリアンから同席を求められ、和やかなひとときを過ごしたことです。海外研修参加者全員が18日朝名古屋空港に無事帰国致し、研修の成果をそれぞれのレポートにまとめ後日研修の糧としたい。



雑誌月間に寄せて



地区広報委員会 委員長 塚本 胤男

今年も「雑誌月間」がやってきました。これは、月刊誌『ロータリーの友』普及のための月間です。

『ロータリーの友』は、1953年に広い意味でのロータリーインフォメーションの普及を その目的として 発足しました。皆さんのご指導とご協力を得て、日本のロータリアンを結び、今年1月号で創刊50周年を迎えました。昨年7月号よりA4サイズにリニューアルして登場していますのは、既に皆さんご承知の通りでございます。

ロータリアンによく「三大義務」と言われますのは

①会費を納入すること

②例会へ出席すること

③ロータリーの公式機関紙『ザ・ロータリアン』または『ロータリーの友』のいずれかを購読することですが、3つ目の『ロータリーの友』について、1996～97年度の松本宏バストガバナーは、1998年4月号で こう書いておられます。

「『ロータリーの友』はロータリアンにとって ロータリーの“百科事典”であり、“教科書”“ガイドブック”はたまた“生涯の友”であります。“友”は、果たして あなた個人にとってどんな存在意義があるのか 考えてみるのにも、ロータリ雑誌月間はいいい機会です。」

『ロータリーの友』は生涯の友（ロータリアンは、お互い生涯の友なのですから）。世界に誇れる機関紙です。地域雑誌の中で、編集技術は世界一との評価も受けています。ロータリーの知識を増やし、行動するためには、ロータリアンが、世界で・日本で、どのように奉仕しているか 知る必要があります。それらに啓発されて、色々なプロジェクトが出来てきます。『ロータリーの友』は、ロータリーの発展にとって欠くことのできない情報源です。

この素晴らしい『ロータリーの友』をいつもお手元近くに置いて、隅々まで呼んでいただきたいと思います。そして生涯の友として、ロータリーライフの基本を『ロータリーの友』から学び、行動の指針に役立てていただければ、生き活きたロータリー活動と友情の話が広がるのではないのでしょうか。

小牧ロータリークラブ 創立35周年記念

日時／場所 平成14年11月16日 小牧東部市民センター
平成15年1月22日 名鉄小牧ホテル
平成15年3月22日 ジュニア・ソロコンサート
in KOMAKI 2003 小牧市民会館



我が同志たち

1968年1月24日小牧ロータリークラブが創立されて35年を迎えました。時節柄会員の汗と奉仕で資金面をカバーしようと考え



小牧南高校吹奏楽部の友情演奏

ました。記念事業は地域の文化資産の振興と地域新世代の育成を主眼にしました。まず地域の中小高校生からピアノ、フルート、バイオリンの3部門でロータリー主催の学生音楽コンクールを開催し75名の参加者から9名の名奏者を選出しました。このソリスト達が来る3月22日小牧市民会館で、結成後から話題の小牧市交響楽団とソロ共演を致します。名付けて“ジュニア・ソロコンサート in KOMAKI”今から地域では大きな話題

と期待で一杯です。

記念式典・祝宴は記念例会として1月22日に名鉄小牧ホテルにて行いました。小牧南高校吹奏部50名のご協力で開催し岡部快園ガバナーには“慈愛の種を捲きましょう”“Goodbye Polio Thank You Rotary”などの実に感銘深いご挨拶を頂きました。小牧市長中野直輝様、東尾張分区ガバナー補佐太田達夫様からもご祝辞を賜りました。記念特別講演には米山奨学生として来日され現在文学博士となられた李善雅さんをお迎えし“麗しき日韓異文化交流”と題し、日韓の文化や言語、習慣の違いを乗り越えた交流の実例やワールドカップ日韓共同開催をきっかけに両国がひと味違った交流が出来るのではないかという興味深いお話を聴きました。祝宴は初代会長伴野富三氏の乾杯ではじまりバスト会長金刺実氏一門の詩吟と剣舞、尾張太鼓などを楽しんでいただきました。会場には会

員金刺実氏の詩吟と剣舞員の秘蔵品や思い出の品が展示されました。今年度は厳しい予算の中で各委員会には35周年の“冠委員会活動”をお願いしておりますが多くの委員会で35周年記念の意義ある活動をして頂いております。この日の感動を胸に今後も奉仕に親睦に努めたいと会員一同決意を新たにしております。



会員金刺実氏の詩吟と剣舞

安城ロータリークラブ 創立45周年記念

日時 平成15年1月18日 場所 安城市民会館サルビアホール



ポリオ撲滅キャンペーン「愛知学泉大学・安城学園高校オーケストラによるNew Year チャリティコンサート」を開催しました。鈴木凱男会長は「コンサートの目的の一つは、多くの市民の方に生のオーケストラを聴いて頂ける機会を設けること。そして、入場料の収益金をポリオ撲滅のための募金とすることです。」と挨拶し、J・シュトラウスのこうもり序曲、美しき青

きドナウ、トリッチトラッチボルカなどが演奏され、多くの市民の方が本格的な演奏を楽しまれました。2月8日には碧海信用金庫の例会場で記念例会を開催しました。記念事業としてポリオプラス基金贈呈、安城市まちづくり市民会議へ感謝状・金一封贈呈、スポンサークラブ岡崎RC会長へ感謝状・記念品贈呈を行いました。ガバナー補佐の原田慶三郎君、岡崎RC会長の杉浦皓君、三河安城RC会長の都築征成君、愛知学泉大学理事長の寺部暁様らの来賓を迎え、多数の出席者により盛大に行われました。



I.M.開催報告

西三河分区

テーマ

考えよう、
地域社会とロータリー

開催日 平成15年1月25日(土)
会場 碧南信用金庫安城本店ホール
主催者 ガバナー補佐 原田慶三郎
ホスト 安城ロータリークラブ
参加者 特別出席者6名、会員361名
参加クラブ 刈谷、西尾、碧南、一色、高浜、
知立、西尾KIRARA、三河安城、
安城



第1部 式典

第2部 活動発表

テーマ

“今年度の重点事業と
クラブ具運営について”

…分区9クラブ会長

第3部 記念講演

「21世紀・日本のエネルギー」
中部電力(株) 会長・工学博士

太田宏次氏

ガバナー講評 岡部快圓 ガバナー

第4部 懇親会

演奏 太田邦夫トリオ

今年度、岡部ガバナーの地区運営方針を重視し、“考えよう、地域社会とロータリー”を掲げ、実行委員会の計画に基づきクラブ総力で取り組み開催いたしました。幸い、参加者からよい評判を頂き懸案事業を果たす事が出来、まずいってご協力に感謝申し上げます。

第一部 式典はホスト側のお礼に始まり、岡部ガバナーから、I.M.の意義と効果、地区方針に沿った活動に対する謝意の表明がありました。

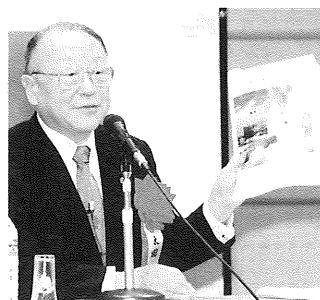
第二部 活動発表は、9RC会長にはテーマを含む自由な意見発表をお願いしたところ、流石、一騎当千の方々ばかり、各クラブの歴史、伝統、過去の実績等踏まえ、高い見識と的確な判断による地域ニーズに対応した活動の様子、又、ご自身の考えを、緩急、硬軟、ユーモアを取り混えた話し振りに聞く人を強く引きつける発言ばかりでした。



安城RCも本年、創立45周年を迎えます。これをよい契機と捉え、新春早々、その第一弾として、ポリオ撲滅キャンペーン、New Year チャリティーコンサートと銘打ちその浄財の一部と百万弗例会の捻出金を原資として、記念事業で合わせて6項目、即ち、6つの種を播く事が出来ました。

I.M.、45周年の一連の事業、行事がつづいた事で同士の深い交流の中から強い結束力が生まれ、より力が

発揮される好結果につながったと自負している次第です。



第三部 記念講演は、中部電力(株)会長、工学博士、太田宏次氏を招き「21世紀・日本のエネルギー」と題して、エネルギー源の現状と将来、その効率性、そして、環境保全の重要性等々多くの知識を得、今後の活動の参考になればと思います。

続く、ガバナー補佐講評は、地域文化、伝統を守り継承する重要性を強調され、地域密着の活動展開により評価を頂きました。

第四部 懇親会は、昔懐かしい曲の演奏に乗せて、杯を重ねながら、胸を開いて語り笑い親交を深めつつ、名残惜しい気持ちで終える事が出来ました。誠に有難うございました。

IM開催報告

南尾張分区

テーマ

新世紀にふさわしい 国際理解を

開催日 平成15年2月16日(日)
会場 名古屋観光ホテル
主催者 ガバナー補佐 稲山達弘
ホスト 知多ロータリークラブ
参加者 特別出席者5名、会員318名
参加クラブ 半田、常滑、東海、東知多、半田南、知多

朝からあいにくの冷たい雨に見舞われ、参加者の足が遠のくのではないかと心配されましたが、それにもかかわらずロータリアンの結束は固く、多数の参加者に恵まれたことは感謝感激でいっぱいでした。

第一部の式典では、岡部ガバナーがアメリカとイラクが今まさに戦争の幕を切って落とそうとしているが、ロータリアンはいよいよこの危機に直面して世界平和に向けて立ち上がる時が来たと威勢よく語られたが、これを受けて南尾張分区でも東知多RCより大府RCが誕生し、本年4月より6クラブから7クラブに増えることになり、ますますロータリアンの活動が活発になると力強い気持ちで胸も膨らむ思いでした。

第二部は中部国際空港株式会社社長の平野幸久氏に「セントレアの開港に向けて」という演題で講演していただきました。この演題を依頼したのは、これからの中部地区の発展と国際人として成長してほしいロータリアンには何が必要かという問題提起をロータリアン自身が考えて頂きたかったからです。平野氏はセントレアを第一に利便性、経済性に優れた空港であること、



第2に魅力あるサービスを提供する、第三に環境に配慮した空港づくりを目指していると話され、展望レストラン、マルチリラクゼーション施設(銭湯等)、充実した商業飲食店エリア、常時イベントの開催等、飛行機に乗れなくても楽しめる空港が今まさに作られていると語られた。これは国際人としてのロータリアンの自覚を促すに充分な平野氏の講演でした。

第三部は安藤嘉治IM実行委員長の開演の言葉を皮切りに豊富なアルコールも食べ物もあつという間になくなり、この食欲なら21世紀もこの地区のロータリアンに安心して任務を任せられると思ったことでした。

アトラクションはメリハリの利いたフラメンコショーが舞台で披露され、いよいよ盛り上がった一日でした。

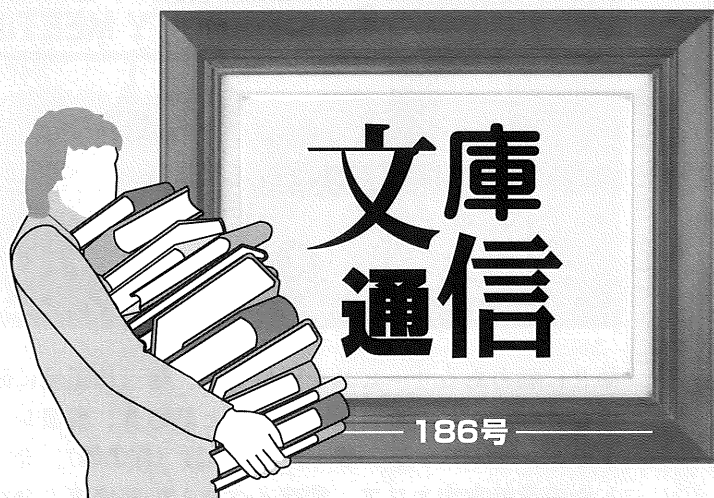


新しい仲間

青柳 栄一（津島）
 入山 修（津島）
 小野木 元（名古屋名南）
 東山 直史（名古屋名南）
 和田 直美（名古屋西南）
 河合 隆二（名古屋千種）

櫻井 敬子（岡崎）
 小野 雅道（豊田）
 早川 文喜（豊田）
 松井 博文（豊田）
 松田 法治（岡崎南）
 斉藤 敦（岡崎南）

石井 昌弘（安城）
 浅岡 正玄（西尾）
 鈴木 清孝（西尾KIRARA）
 廣中 利臣（西尾KIRARA）
 山田 和雄（名古屋西）



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

興味深い資料から

- ◎「泥中の蓮
 ービチャイ・ラタクルR.I会長の
 ロータリー思想ー」

佐藤千壽 2002 12 p
 (D.2790地区大会講話)

- ◎「地域社会でのロータリーイメージ強化」
 中野重宏他 2001 16 p
 (D.2650 IMフォーラム)

- ◎「教育 家庭で出来ること
 学校で出来ること
 地域社会で出来ること」

藤川亨胤他 2002 2 p
 (D.2770地区大会シンポジウム)

- ◎「フレッシュロータリアンと語ろう」
 岩崎敏夫他 2002 11 p
 (D.2840地区大会パネルディスカッション)

- ◎「地域のなかで 私とボランティア」
 星野和央 1996 6 p
 [申込先：星野和央

FAX (048) 834-1923]

- ◎「会員増強と退会防止を考える」
 小船井修一 2002 6 p

- ◎ フォーラム「女性会員増強について」
 土井口勝他 2002 1 p
 (D.2720地区大会)

- ◎「ロータリーの広報は会員の行動そのもの」
 三浦福好 2002 1 p

ロータリー文庫
 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

会員数及び出席報告 (平成15年2月分)

分 区	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	2月 出席率	女 性
		2002年 7月1日	2003年 2月末日	2月	累計	2月	累計			
南 尾 張 分 区	半 田	70	71	0	2	0	1	4	100.00	4
	常 滑	59	60	0	4	0	3	4	92.65	0
	東 海	55	54	0	1	0	2	4	93.98	3
	東 知 多	62	54	0	1	2	9	4	95.21	0
	半 田 南	58	56	0	2	0	4	3	98.73	1
	知 多	36	36	0	4	1	4	4	95.27	0
	6RC	340	331	0	14	3	23	23		8
西 尾 張 分 区	一 宮	80	80	0	3	0	3	4	98.97	0
	津 島	80	79	0	1	0	2	4	98.91	1
	尾 西	42	40	0	0	0	2	3	95.66	0
	稲 沢	65	62	0	0	0	3	3	93.46	0
	あ ま	93	92	0	3	1	4	4	97.73	0
	西春日井	40	41	1	3	0	2	3	99.12	2
	尾張中央	51	50	0	0	0	1	3	97.60	0
東 尾 張 分 区	一 宮 北	63	63	0	2	0	2	4	91.20	0
	一宮中央	64	62	1	3	0	5	3	95.63	5
	9RC	578	569	2	15	1	24	31		8
	瀬 戸	82	83	0	3	0	2	3	100.00	4
	犬 山	84	84	0	1	0	1	3	100.00	0
	江 南	67	67	0	4	0	4	4	92.12	1
	小 牧	70	73	1	5	0	2	4	80.85	1
西 名 古 屋 分 区	春 日 井	80	78	0	1	1	3	4	98.09	4
	尾 張 旭	46	41	0	1	0	6	4	98.78	0
	名古屋空港	54	55	0	3	0	2	3	100.00	0
	瀬 戸 北	74	73	0	0	0	1	3	98.96	3
	岩 倉	27	24	0	0	0	3	3	97.22	0
	豊山一城北	35	36	1	4	0	3	3	96.91	1
	愛知長久手	20	22	0	2	0	0	2	97.50	2
西 名 古 屋 分 区	11RC	639	636	2	24	1	27	36		16
	名 古 屋	197	209	0	19	0	7	3	95.95	0
	名 古 屋 西	118	120	0	7	0	5	4	94.70	0
	名 古 屋 南	121	123	0	9	0	7	4	99.19	0
	名古屋みなと	99	95	0	2	0	6	4	100.00	0
	名古屋東南	81	81	1	5	0	5	4	94.20	5
	名 古 屋 中	145	143	0	1	0	3	4	99.71	0
西 三 河 分 区	名古屋瑞穂	81	80	0	2	1	3	4	97.10	0
	名古屋大須	68	68	1	2	1	2	4	98.41	0
	名 古 屋 栄	80	79	0	3	1	4	4	99.02	0
	名古屋名駅	101	102	0	6	0	5	4	97.66	2
	名古屋名南	80	83	0	3	0	0	3	98.67	14
	名古屋西南	55	54	1	6	0	7	4	98.50	9
	12RC	1226	1237	3	65	3	54	46		30

平均出席率	79	96.6499
-------	----	---------

分 区	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	2月 出席率	女 性
		2002年 7月1日	2003年 2月末日	2月	累計	2月	累計			
東 名 古 屋 分 区	名 古 屋 北	105	103	0	3	0	5	4	99.08	0
	名 古 屋 東	98	94	1	2	1	6	4	93.52	0
	名古屋守山	69	69	0	4	0	4	4	88.89	6
	名古屋和合	99	100	0	4	0	3	4	100.00	0
	名古屋名東	75	70	0	0	1	5	4	100.00	5
	名古屋名北	56	52	0	0	0	4	4	98.06	7
	名古屋千種	69	69	0	3	1	3	3	98.44	6
東 三 河 分 区	名古屋昭和	71	69	0	2	0	4	3	99.46	0
	名 古 屋 錦	41	40	0	0	0	1	3	93.86	8
	名古屋東山	58	64	0	6	0	0	4	95.74	1
	10RC	741	730	1	24	3	35	37		33
	豊 橋	118	120	0	4	0	2	4	97.74	4
	蒲 郡	68	68	0	1	0	1	4	93.31	0
	豊 橋 北	105	104	0	1	1	2	3	97.49	2
西 三 河 分 区	豊 川	75	75	0	2	0	2	4	96.72	0
	田 原	70	69	0	2	1	3	4	91.35	1
	豊 橋 南	68	68	0	1	0	1	4	99.54	0
	新 城	68	67	0	0	0	1	3	94.95	0
	渥 美	43	41	0	1	1	3	3	75.00	0
	奥 三 河	35	31	0	0	0	4	3	91.20	3
	豊川宝飯	58	58	0	3	0	3	4	93.59	0
西 三 河 分 区	豊橋ゴールデン	71	70	0	1	0	2	4	92.83	0
	田原パシフィック	71	73	0	3	0	1	2	94.52	0
	豊 橋 東	51	49	0	0	0	2	4	100.00	0
	13RC	901	893	0	19	3	27	46		10
	岡 崎	109	105	0	4	2	8	4	97.20	1
	豊 田	85	89	3	8	1	4	4	100.00	0
	岡 崎 南	108	109	2	4	0	3	4	99.09	3
西 三 河 分 区	豊 田 西	97	101	1	5	0	1	4	99.74	0
	岡 崎 東	90	90	0	4	0	4	4	99.38	1
	豊 田 東	85	81	0	0	0	4	3	99.01	0
	岡崎城南	75	80	0	5	0	0	3	100.00	0
	豊田三好	27	27	1	2	0	2	4	94.42	3
	豊 田 中	57	55	0	1	0	3	4	99.00	4
	9RC	733	737	7	33	3	29	34		12
西 三 河 分 区	刈 谷	92	89	0	2	0	5	4	100.00	0
	安 城	71	70	0	4	0	5	4	96.02	1
	西 尾	76	77	0	3	0	2	3	100.00	1
	碧 南	76	78	0	4	0	2	3	100.00	0
	一 色	42	38	0	0	0	4	4	100.00	0
	高 浜	48	49	0	2	0	1	3	99.17	2
	知 立	64	65	0	1	0	0	4	94.91	0
西 三 河 分 区	西尾KIRARA	61	62	0	1	0	0	4	98.78	0
	三河安城	49	48	0	2	0	3	4	95.67	2
	9RC	579	576	0	19	0	22	33		6
	地区合計	5737	5709	15	213	17	241	286		123

地区内クラブ数 79RC	2002.7.1 会員数	5,737名	増加会員数 (累計)	213名
	当月末会員数	5,709名 (内女性123名)	減少会員数 (累計)	241名
	当月平均出席率	96.65 %	差引純増会員数 (累計)	▲ 28名



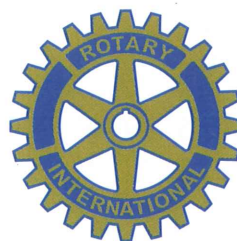
表紙を語る 尾張名所団扇絵

(おわりめいしょうちわえ) 江戸時代後期 森玉僊画
名古屋市瑞穂区 名古屋市博物館蔵

江戸時代後半になると、郷土の歴史熱が高まり、各地で名所図会が作られました。尾張でも「尾張名所図会」が出版されましたが、解説は一流の学者が現地を調査して書き、挿し図も小田切春江・森高雅らの有名画家が描いて、その内容・出来ともに現在でも十分利用できる傑作です。全国的な旅行熱の高まりとともに、大流行しました。

このような流れの中でできたのが、森高雅（号玉僊）が描いた「尾張名所団扇絵」です。写真は、桜天神の2月例祭に奉納される絵馬、見物客でにぎわう植木市の風景です。このシリーズは尾崎久弥氏が古い版木を利用して「名古屋名所団扇絵」22枚として刷り直しました。

(名古屋市博物館 学芸員 鳥居和之)



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 岡部 快圓

〒460-0011 名古屋市中区大須2-21-47 大須観音宝生院内
TEL 052-229-8110 FAX 052-232-1023
URL : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor02-03@rotary2760.org
